

要件定義書	業務名称	事故情報分析システム
	システム名称	事故情報分析システム

2.9. 教育計画

教育要件は下記の通りとする。

項目	内容	備考
管理ユーザー向け説明会	サービス開始前に1回	本システムの管理ユーザー向けに、操作方法・運用方法等について、サービス開始前に説明会を開催すること。 日程・詳細な内容は、別途調整とする。

要件定義書	業務名称	事故情報分析システム
	システム名称	事故情報分析システム

3. 開発体制

見積提示段階において、開発体制を提示すること。

要件定義書	業務名称	事故情報分析システム
	システム名称	事故情報分析システム

4. 開発・運用スケジュール

開発・運用スケジュールは、下記の通りとする。

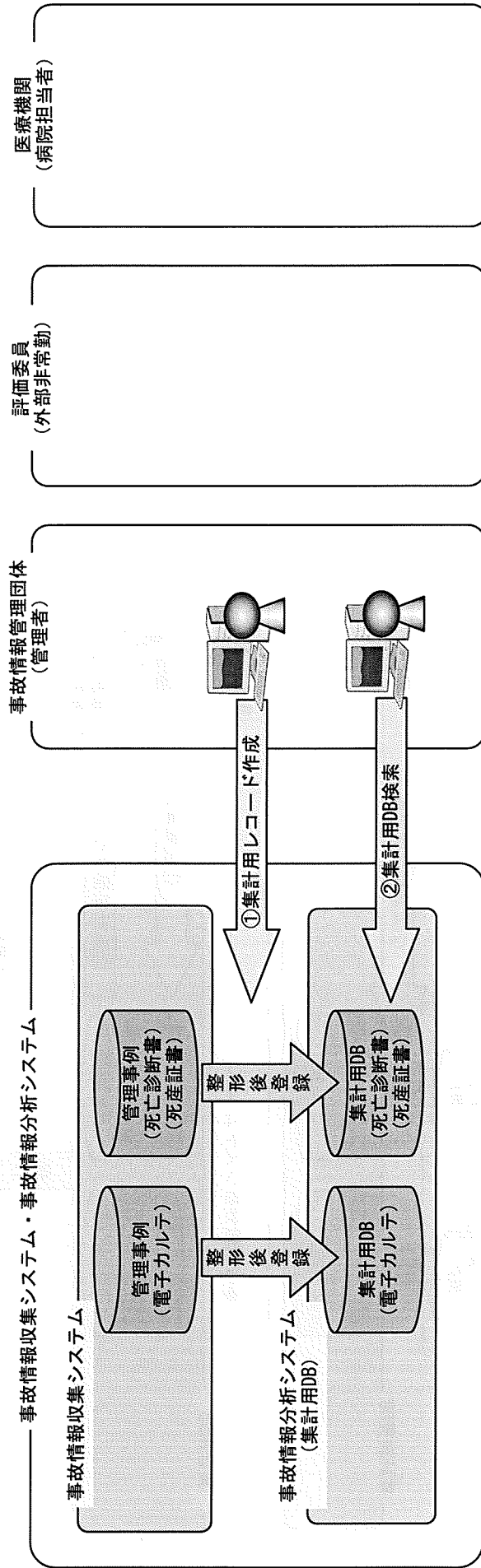
項目	内容	備考
基本設計 詳細設計 プログラム作成 テスト(単体・結合・システム) 環境構築 操作説明会	12ヶ月	サービス開始時点までに、全ての納品を完了すること。 開発期間中のスケジュールの詳細スケジュールは、見積段階で提示すること。
システム運用期間	60ヶ月(5年間)	運用期間にかかる全ての費用を見積段階で提示すること。 ただし、システム運用期間が延長された際にも対応可能な運用を想定すること。 (システム運用の最大期間は、10年を想定すること。)

要件定義書		業務名称 システム名称	事故情報分析システム 事故情報分析システム	
5.1. システム機能一覧				
機能大分類	ユーザー	機能分類	頻度	機能概要
集計用DB作成支援	管理ユーザー	集計用レコード作成機能① (死亡診断書・死産証書用) 集計用レコード作成機能② (電子カルテ用) 集計用DB検索機能	[随時] [随時] [随時]	コード情報(死亡診断書・死産証書)をベースにした集計用DBを作成する機能 電子カルテ情報をベースにした集計用DBを作成する機能 集計用DBに対して、検索を行う機能(全文検索等)
事業報告書作成支援	管理ユーザー	四半期集計機能 年次集計機能 集計結果保存機能 任意集計機能	[随時] [随時] [随時] [随時]	指定期間における事業内容(四半期)を集計する機能 指定期間における事業内容(年次)を集計する機能 集計して作成した事業報告書を保存する機能 アドホックな分析のために、任意条件で集計し、集計結果をダウンロードする機能
評価委員会会議支援	管理ユーザー 評価委員 病院担当者	WEB会議開催機能 ファイル共有機能 メッセージ交換機能 ファイル出力機能 アンケート・投票調査機能 スケジュール調整機能 進捗管理機能	[随時] [随時] [随時] [随時] [随時] [随時] [随時]	個別の評価委員会のメンバーを指定し、WEB会議を開催する機能 WEB会議内で、評価報告書を共同執筆する機能 評価委員会のメンバーがファイルがメッセージを交換する機能 WEB会議内で作成されるメッセージ・グラフ等をファイル出力する機能 独自のアンケートの作成や、評価委員会のメンバー内で投票をする機能 評価委員会の会議日程や訪問スケジュール等を管理する機能 評価報告書の作成進捗を管理する機能
システム管理	管理ユーザー	マスタ管理機能	[随時]	システムで利用する各種マスタをメンテナンスする機能

要件定義書	業務名称	事故情報分析システム
	システム名称	事故情報分析システム

6. 業務関連図

6.1. 集計用DB作成支援関連図

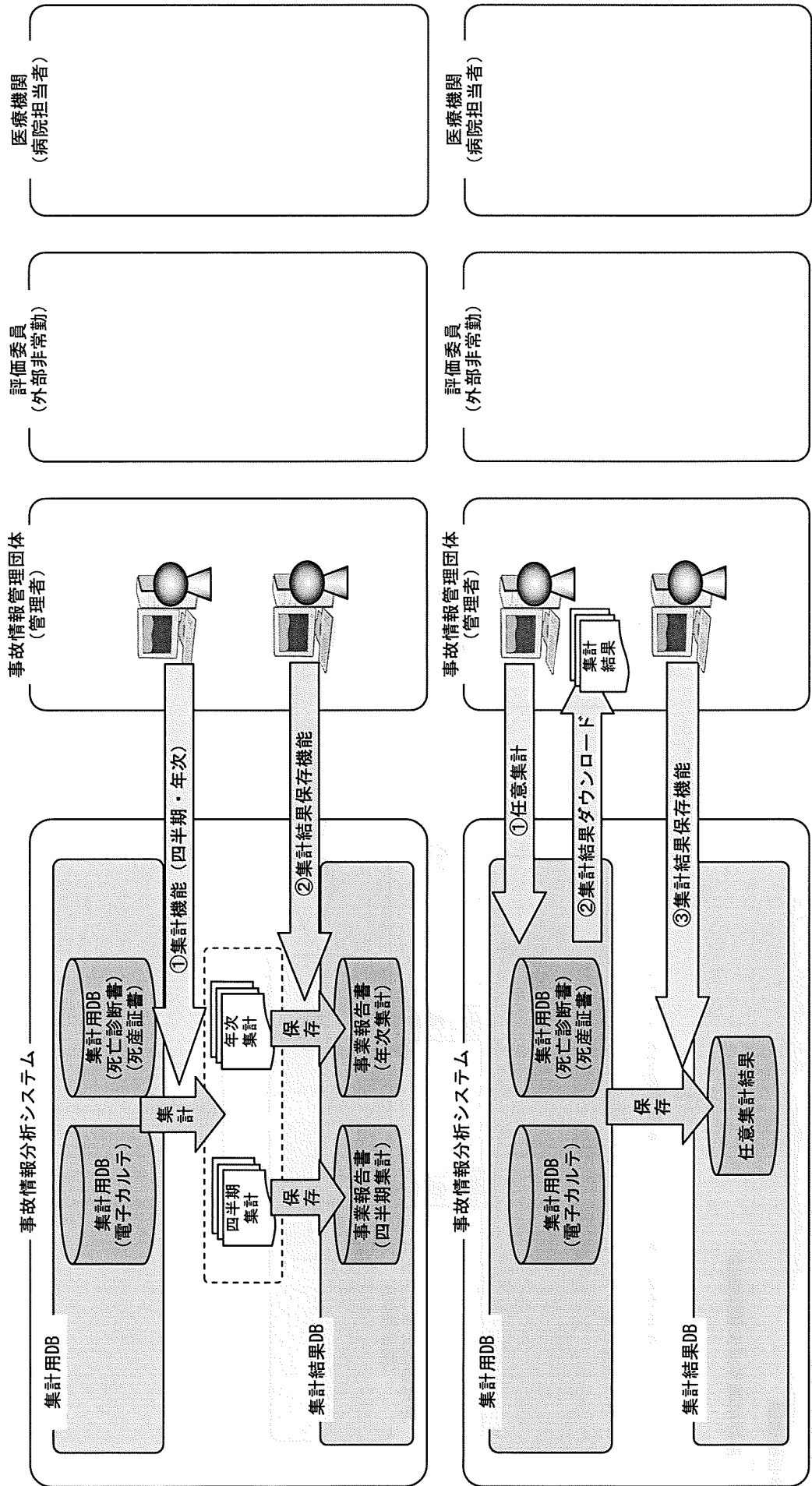


# 要件定義書

業務名称 事故情報分析システム  
システム名称 事故情報分析システム

## 6. 業務関連図

### 6.2. 事業報告書作成支援関連図

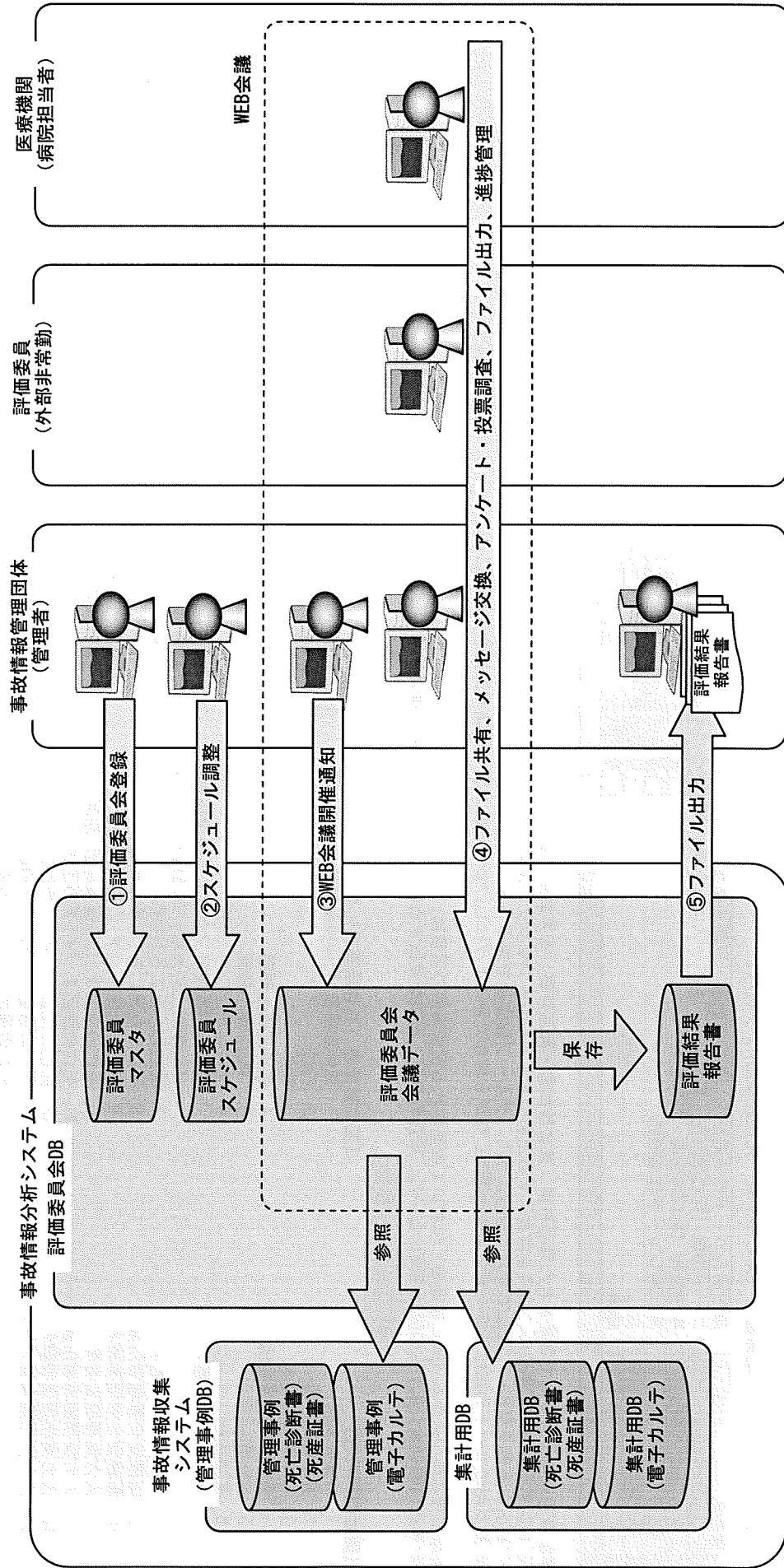


# 要件定義書

業務名称 事故情報分析システム  
システム名称 事故情報分析システム

## 6. 業務関連図

### 6.3. 評価委員会会議支援関連図



要件定義書	業務名称 システム名称	事故情報分析システム 事故情報分析システム
-------	----------------	--------------------------

7.1. 集計用DB作成支援機能

7.1.1. 集計用レコード作成機能①（死亡診断書・死産証明書）（1/2）

システム機能名	集計用レコード作成機能①（死亡診断書・死産証明書）
機能概要	コード情報（死亡診断書・死産証明書）をベースにした集計用DBを作成する機能
入力（インターフェース）	出力（インターフェース） 集計用レコード登録・更新内容
関連画面（入力）	関連画面（出力） 集計用レコード登録・更新内容確認画面
関連帳票（入力）	なし
処理頻度	随時
機能詳細	オンライン

- 1) 事故情報収集システムで収集された管理事例（死亡診断書・死産証明書）を集計用に整形・加工し、集計用DBに登録することができること。  
 ※ 登録するレコード単位に、検索を容易にするためのタイトルやインデックス情報を付加できること。  
 ※ 複数の事例をグループ化して管理できるように、グループ設定ができること。  
 ※ 集計用のコード付加は、コードマスタと運動しなから付与できるようにし、コードの二重化を防ぐ工夫を入れること。
- 2) 事故情報収集システム（死亡診断書）において収集される管理事例の項目は、下記の通り想定すること。  
 ※ 事故情報収集システムの設計段階において、項目の変更・追加が発生するので、あくまで参考程度とすること。

【医療機関情報】

1. 申請年月日
2. 医療機関名称
3. 医療機関開設者
4. 医療機関の所在地
5. 病床数
6. 電話番号
7. ファクシミリ番号
8. 医療安全管理者名
9. 医療安全管理者所属
10. 医療安全管理者職名
11. 入力実務担当者名
12. 入力実務担当者所属
13. 入力実務担当者職名
14. 入力実務担当者メールアドレス

【死亡診断書（死体検案書）】

1. 死体診断書・死体検案書区分
2. 氏名
3. 性別
4. 生年月日・時間
5. (推定)死亡日時
6. 死亡したところの種別  
(1)病院, 2)診療所, 3)介護老人保健施設  
(4)助産所, 5)老人ホーム, 6)自宅, 7)その他
7. 死亡したところ(住所)
8. 死亡したところ(施設)の名称
9. 死亡の原因I (ア)直接死因
10. 死亡の原因I (イ)アの原因
11. 死亡の原因I (イ)イの原因
12. 死亡の原因I (イ)ウの原因
13. 死亡の原因I (エ)ウの原因
14. 死亡の原因I (エ)エの原因
15. 死亡の原因II
16. 死亡の原因II
17. 死亡の原因II
18. 死亡の原因II

19. 手術有無
20. 手術部位及び主要所見
21. 手術年月日
22. 解剖有無
23. 解剖主要所見
24. 死因の種類  
(1)病死及び自然死, 2)交通事故, 3)転倒・転落  
(4)溺水, 5)煙・火災及び火焔による障害, 6)窒息  
(7)中毒, 8)不慮の外因死その他  
(9)自殺, 10)他殺, 11)その他及び不詳の外因  
(12)不詳の死)
25. 傷害の発生日時
26. 傷害の発生場所の種類  
(1)住居, 2)工場及び建築現場, 3)道路, 4)その他
27. 傷害の発生場所(住所)
28. 傷害の発生場所(住所)
29. 外因死(手段及び状況)

30. 出生時体重
31. 単胎・多胎の別 (1)単胎, 2)多胎
32. 多胎の詳細 (○)子中第○子
33. 妊娠週数
34. 母体の病態又は異常  
(1)無, 2)有, 3)不詳
35. 母体の病態又は異常の詳細
36. 母の生年月日
37. 前回までの妊娠の結果
38. その他付言事項
39. 診断(検案)年月日
40. 診断書(検案書)発行年月日
41. 医師氏名
42. 医師住所

【事例概要】

1. 事例概要(自由記載2000字程度)



要件定義書		業務名称	事故情報分析システム
		システム名称	事故情報分析システム
7. 1. 集計用DB作成支援機能			
7. 1. 1. 集計用レコード作成機能① (死亡診断書・死産証書用) (2/2)			
システム機能名	集計用レコード作成機能① (死亡診断書・死産証書用)		
機能概要	コード情報 (死亡診断書・死産証書) をベースにした集計用DBを作成する機能		
入力 (インターフェース)	出力 (インターフェース)		
関連画面 (入力)	関連画面 (出力)		
関連帳票 (入力)	関連帳票 (出力)		
関連頻度	なし		
機能詳細	随時		
		集計用レコード登録・更新内容	
		集計用レコード登録・更新内容確認画面	
		なし	
		オンライン	

3) 事故情報収集システム (死産証書) において収集される管理事例の項目は、下記の通り想定すること。  
 ※ 事故情報収集システム的设计段階において、項目の変更・追加が発生するので、あくまで参考程度とすること。

【事例概要】

1. 事例概要 (自由記載2000字程度)

【死産証書 (死胎検案書)】

1. 死産証書・死胎検案書区分
2. 死産児の性別 (1男, 2女, 3不詳)
3. 母の氏名
4. 妊娠週数
5. (推定) 死産日時
6. 死産児の体重
7. 死産児の身長
8. 胎児死亡の時期 (1分娩前, 2分娩中, 3不明)
9. 死産したところ種別 (1病院, 2診療所, 3助産所) (4自宅, 5その他)
10. 死産したところ (住所)
11. 死産したところ (施設の名称)
12. 単胎, 多胎の別 (1単胎, 2多胎, 3不詳)
13. 多胎の詳細 (〇子中第〇子)
14. 死産の自然人工別 (1自然死産) (2母体保護法による人工死産) (3母体保護法によらない人工死産) (4不明)

15. 自然死産の原因 I (ア) 直接死因-胎児
16. 自然死産の原因 I (ア) 直接死因-母
17. 自然死産の原因 I (イ) アの原因-胎児
18. 自然死産の原因 I (イ) アの原因-母
19. 自然死産の原因 I (ウ) イの原因-胎児
20. 自然死産の原因 I (ウ) イの原因-母
21. 自然死産の原因 I (エ) ウの原因-胎児
22. 自然死産の原因 I (エ) ウの原因-母
23. 自然死産の原因 II 傷病名等-胎児
24. 自然死産の原因 II 傷病名等-母
25. 人工死産の理由 疾患名 (保護法による)
26. 人工死産の理由 理由 (保護法による)
25. 人工死産の理由 疾患名 (保護法によらない)
26. 人工死産の理由 理由 (保護法によらない)

31. 医師・助産師区分
32. 証明 (検案) 年月日
33. 証明書 (検案書) 発行年月日
34. 医師氏名
35. 医師住所

27. 胎児手術の有無
28. 胎児手術の部位及び主要所見
29. 胎児解剖の有無
30. 胎児解剖の主要所見

4) 事故情報収集システムで収集された管理事例 (死亡診断書・死産証書) を検索する際は、集計用DB検索機能と同様の検索ができること。

要件定義書		業務名称	事故情報分析システム
		システム名称	事故情報分析システム
7.1. 集計用DB作成支援機能			
7.1.1. 集計用レコード作成機能②（電子カルテ用）			
システム機能名	集計用レコード作成機能②（電子カルテ用）		
機能概要	コード情報（電子カルテ）をベースにした集計用DBを作成する機能		
入力（インターフェース）	事故情報（電子カルテ）	出力（インターフェース）	集計用レコード登録・更新内容
関連画面（入力）	集計用レコード作成画面	関連画面（出力）	集計用レコード登録・更新内容確認画面
関連帳票（入力）	なし	関連帳票（出力）	なし
処理頻度	随時	処理区分	オンライン
機能詳細			
<p>1) 事故情報収集システムで収集された管理事例（電子カルテ）を集計用に整形・加工し、集計用DBに登録することができること。  ※ 登録するレコード単位に、検索を容易にするためのタイトルやインデックス情報を付加できること。  ※ 複数の事例をグループ化して管理できるように、グループ設定ができること。  ※ 集計用のコード付加は、コードマスタと運動しながら付与できるようにし、コードの二重化を防ぐ工夫を入れること。</p> <p>2) 電子カルテデータは、整形・加工をせずとも、そのまま集計が可能な場合は、集計用DBに登録する処理を省略できること。  ※ フォーマットは、HL7・MML (Mediacal Markup Language) 等を想定</p> <p>3) 登録されている電子カルテデータ自体は、クライアントPCのビューアソフト等を用いることで閲覧を可能にすること。</p> <p>4) 事故情報収集システムで収集された管理事例（死亡診断書・死産証書）を検索する際は、集計用DB検索機能と同様の検索ができること。</p>			

<b>要件定義書</b>		業務名称	事故情報分析システム
		システム名称	事故情報分析システム
7. 1. 集計用DB作成支援機能			
7. 1. 3. 集計用DB検索機能			
システム機能名	集計用DB検索機能		
機能概要	集計用DBに対して、検索を行う機能（全文検索等）		
入力（インターフェース）	集計DBの検索条件		
関連画面（入力）	集計DB検索画面		
関連帳票（入力）	なし		
処理頻度	随時		
機能詳細	出力（インターフェース）	検索結果レコード一覧・個別レコード情報	
	関連画面（出力）	検索結果確認画面	
	関連帳票（出力）	なし	
	処理区分	オンライン	

- 1) 集計用DBに対して、検索条件を設定して、検索することができること。
- 2) 検索条件は、ユーザーの操作性を考慮して作成すること。  
**【最低必要な検索条件項目】**  
 ・ 報告項目での検索  
 ・ 全文検索
- 3) 検索結果から、選択した事例の詳細データを別画面で表示することを可能とする。

要件定義書	業務名称	事故情報分析システム
	システム名称	事故情報分析システム

## 7.2. 事業報告書作成支援機能

### 7.2.1. 四半期集計機能

システム機能名	四半期集計機能
機能概要	指定期間における事業内容（四半期）を集計する機能
入力（インターフェース）	期間指定（四半期）
関連画面（入力）	四半期集計作成画面
関連帳票（入力）	なし
処理頻度	随時
機能詳細	出力（インターフェース）
	関連画面（出力）
	関連帳票（出力）
	処理区分
	集計結果（四半期）
	集計結果内容確認画面
	なし
	オンライン

- 1) 指定した期間における四半期集計（定型集計）を行うことができること。
- 2) 集計結果は、PDF、EXCEL、XML等のファイル形式でダウンロードできること。
- 3) 集計表中にはハイパーリンクを設定し、事例の詳細情報までリンクを辿って閲覧することを可能とする。
- 4) 集計表のレイアウトや、リンク押下時の遷移の詳細は、基本設計時に決定する。
- 5) 集計表のレイアウトは定型とするが、仕様変更は容易かつ安価に対応できるように設計すること。
- 6) 現時点における集計表は、下記を想定している。  
※ 集計項目の詳細は、基本設計時に決定する。

#### 【四半期集計 - 医療事故】

- 報告対象医療機関数及び参加登録申請医療機関数
- 参加登録申請医療機関の登録件数
- 報告対象医療機関及び参加登録申請医療機関の月別報告件数
- 開設者別報告対象医療機関の報告医療機関数及び報告件数
- 報告対象医療機関の報告件数
- 病床規模別報告対象医療機関の報告医療機関数及び報告件数
- 地域別報告対象医療機関の報告医療機関数
- 報告対象医療機関の報告医療機関数及び報告件数
- 参加登録申請医療機関の報告医療機関数
- 参加登録申請医療機関の報告件数
- 発生月・曜日・曜区分
- 発生時間帯
- 患者の年齢
- 患者の性別

- 入院・外来の区分・入院期間
- 発見者
- 当事者の職種
- 当事者の職種別経験年数
- 当事者の部署配属年数
- 当事者(医者)の勤務時間
- 当事者(看護師)の勤務回数
- 当事者(看護師)の夜勤回数
- 事故の概要
- 事故の程度
- 発生場所
- 発生診療科
- 関連診療科
- 発生要因

- 特別報告を求めざる事例
- 事故調査委員会設置の有無
- 事故の概要
- 事故の程度
- 事故の程度
- 事故の程度
- 事故の程度
- 発生内容
- 発生場所
- 発生場所
- 発生診療科
- 発生診療科
- 発生要因
- 発生場所
- 事故調査委員会設置の有無
- 事故調査委員会設置の有無
- 事故の概要
- 事故の程度

要件定義書	業務名称	事故情報分析システム
	システム名称	事故情報分析システム

7.2. 事業報告書作成支援機能

7.2.2. 年次集計機能

システム機能名	年次集計機能	
機能概要	指定期間における事業内容（年次）を集計する機能	
入力（インターフェース）	期間指定（年次）	出力（インターフェース）
関連画面（入力）	年次集計作成画面	集計結果（年次）
関連帳票（入力）	なし	集計結果内容確認画面
処理頻度	随時	なし
機能詳細	処理区分	オンライン

- 1) 指定した期間における年次集計（定型集計）を行うことができること。
- 2) 集計結果は、PDF、EXCEL、XML等のファイル形式でダウンロードできること。
- 3) 集計表中にはハイパーリンクを設定し、事例の詳細情報までリンクを辿って閲覧することを可能とする。
- 4) 集計表のレイアウトや、リンク押下時の遷移の詳細は、基本設計時に決定する。
- 5) 集計表のレイアウトは定型とするが、仕様変更は容易かつ安価に対応できるように設計すること。

- 6) 現時点における集計表は、下記を想定している。  
※ 集計項目の詳細は、基本設計時に決定する。

【年次集計 - 医療事故】

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 報告義務対象医療機関数及び参加登録申請医療機関数      | <input type="checkbox"/> 入院・外来の区分・入院期間 |
| <input type="checkbox"/> 参加登録申請医療機関における登録件数の推移         | <input type="checkbox"/> 発見者           |
| <input type="checkbox"/> 報告義務対象医療機関及び参加登録申請医療機関の月別報告件数 | <input type="checkbox"/> 当事者の職種        |
| <input type="checkbox"/> 報告義務対象医療機関の報告医療機関数及び報告件数      | <input type="checkbox"/> 当事者の職別経験年数    |
| <input type="checkbox"/> 病床規模別報告義務対象医療機関数              | <input type="checkbox"/> 当事者の部署配属年数    |
| <input type="checkbox"/> 報告件数別報告義務対象医療機関数              | <input type="checkbox"/> 当事者（医者）の勤務時間  |
| <input type="checkbox"/> 参加登録申請医療機関の報告医療機関数及び報告件数      | <input type="checkbox"/> 当事者（看護師）の勤務時間 |
| <input type="checkbox"/> 発生日・曜日区分                      | <input type="checkbox"/> 当事者（医者）の夜勤回数  |
| <input type="checkbox"/> 発生日間帯                         | <input type="checkbox"/> 当事者（看護師）の夜勤回数 |
| <input type="checkbox"/> 患者の年齢                         | <input type="checkbox"/> 事故の概要         |
| <input type="checkbox"/> 患者の性別                         | <input type="checkbox"/> 事故の程度         |
|  | <input type="checkbox"/> 発生場所          |
|  | <input type="checkbox"/> 関連診療科         |
|  | <input type="checkbox"/> 発生要因          |
- 
- |                                       |                                       |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 特に報告を求めめる事例  | <input type="checkbox"/> 発生場所×事故の概要   |
| <input type="checkbox"/> 事故調査委員会設置の有無 | <input type="checkbox"/> 発生場所×入院・外来の別 |
| <input type="checkbox"/> 事故の概要×事故の程度  | <input type="checkbox"/> 発生要因×事故の概要   |
| <input type="checkbox"/> 発生場面×事故の程度   | <input type="checkbox"/> 発生場所×事故の概要   |
| <input type="checkbox"/> 事故の内容×事故の程度  |                                       |
| <input type="checkbox"/> 発生場所×事故の程度   |                                       |

要件定義書	業務名称	事故情報分析システム
	システム名称	事故情報分析システム
7.2. 事業報告書作成支援機能		
7.2.3. 集計結果保存機能		
システム機能名	集計結果保存機能	
機能概要	集計して作成した事業報告書を保存する機能	
入力 (インターフェース)	出力 (インターフェース)	保存内容
関連画面 (入力)	関連画面 (出力)	保存内容確認画面
関連帳票 (入力)	関連帳票 (出力)	なし
処理頻度	処理区分	オンライン
機能詳細		

- 1) 四半期集計・年次集計・任意集計の集計結果DBに保存できること。
- 2) 四半期集計・年次集計・任意集計の履歴を管理し、集計結果の閲覧ができること。

要件定義書	業務名称	事故情報分析システム
	システム名称	事故情報分析システム

7.2. 事業報告書作成支援機能

7.2.4. 任意集計機能

システム機能名	任意集計機能		
機能概要	アドホックな分析のために、任意条件で集計し、集計結果をダウンロードする機能		
入力 (インターフェース)	検索条件 (SQL等)	出力 (インターフェース)	集計結果
関連画面 (入力)	検索条件設定画面	関連画面 (出力)	集計結果内容確認画面
関連帳票 (入力)	なし	関連帳票 (出力)	なし
処理頻度	随時	処理区分	オンライン
機能詳細			

- 1) 任意の検索条件を設定して、集計を行うことができること。  
※ 検索条件には、SQL等で自由に記載も可能にすること。
- 2) 集計結果は、PDF、EXCEL、XML等のファイル形式でダウンロードできること。
- 3) 集計表中にはハイパーリンクを設定し、事例の詳細情報までリンクを辿って閲覧することを可能とする。

要件定義書	業務名称	事故情報分析システム
	システム名称	事故情報分析システム
7.3. 評価委員会会議支援機能		
■ 評価委員会会議支援機能の位置付け		

1) 事例評価・報告書作成の過程において、ディスカッション・ブレインストーミング・投票等を行うが、それらの必要機能をインターネット上で提供し、評価委員会の参加者のコミュニケーションやコラボレーションを実現する。

- 2) 上記の内容を実現する上で、下記の機能を包括的に提供すること。
- WEB会議開催機能
  - ファイル共有機能
  - メッセージ交換機能
  - ファイル出力機能
  - アンケート・投票調査機能
  - スケジュール調整機能
  - 進捗管理機能

3) 現在では、SaaS (Software as a Service) による類似機能の利用が主流であるが、本システムで取り扱うデータの個人情報漏洩リスク等を考慮すると、データ自体は本システム内で管理することを前提にすること。

4) 評価委員会が作成する評価結果報告書の構成は、大きく下記の構成に従うものとする。

- 1章. 評価結果報告書の位置付け・目的
- 2章. 死亡事例の詳細と医学的評価
  - 2-1. 臨床経過の概要
  - 2-2. 解剖結果の概要
  - 2-3. 臨床経過と解剖結果を踏まえた死亡原因に関する考察
  - 2-4. 臨床経過に関する医学的評価
  - 2-5. 結論 (要約)
- 3章. 再発防止への提言
- 4章. 関連資料



要件定義書	業務名称	事故情報分析システム
	システム名称	事故情報分析システム

7.3. 評価委員会会議支援機能

7.3.1. WEB会議開催機能 (1/2)

システム機能名	WEB会議開催機能		
機能概要	個別の評価委員会のメンバーを指定し、WEB会議を開催する機能		
入力 (インターフェース)	出力 (インターフェース)	WEB会議情報	WEB会議情報
関連画面 (入力)	関連画面 (出力)	WEB会議開催画面	WEB会議画面
関連帳票 (入力)	関連帳票 (出力)	なし	なし
処理頻度	処理区分	なし	オンライン
機能詳細	随時		

- 1) 個別の評価委員会毎に、参加するメンバーを指定することができること。  
※ 参加メンバーに登録されていない他のユーザーは、対象の評価委員会の会議データにアクセスできないこと。
- 2) インターネット接続環境下で、WEB会議を開催、参加することができること。
- 3) 会議の途中で、新たな参加者の招待が可能であること。
- 4) 参加ユーザーは、Webブラウザでアクセスするようにし、煩雑なアプリケーションの事前設定は不要とすること。
- 5) デスクトップ画面の共有、デモの実施、プレゼンテーションができること。

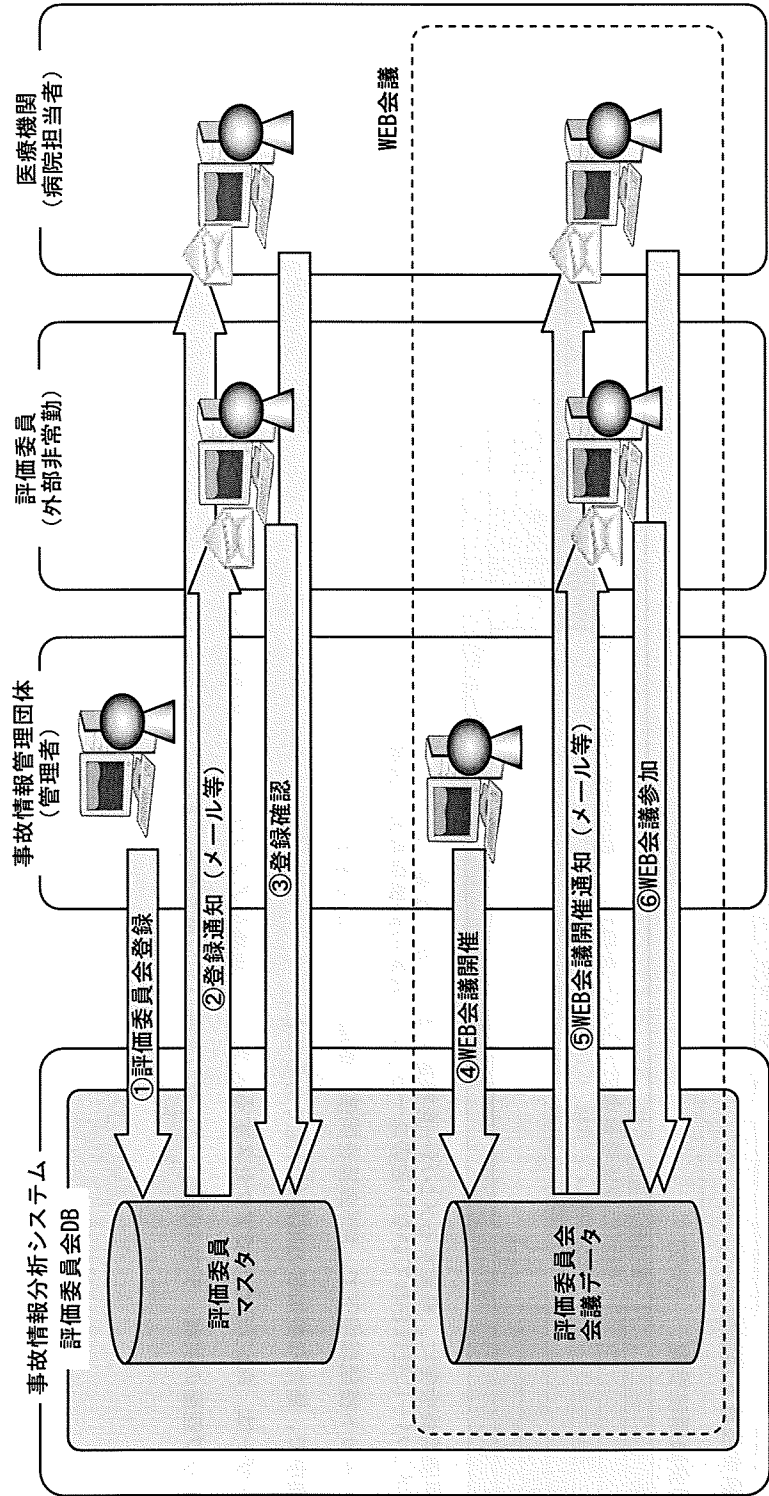
要件定義書	業務名称	事故情報分析システム
	システム名称	事故情報分析システム

7.3. 評価委員会会議支援機能

7.3.1. WEB会議開催機能 (2/2)

システム機能名	WEB会議開催機能
機能概要	個別の評価委員会のメンバーを指定し、WEB会議を開催する機能
入力 (インターフェース)	WEB会議設定情報
関連画面 (入力)	WEB会議開催画面
関連帳票 (入力)	なし
処理頻度	随時
機能詳細	出力 (インターフェース) WEB会議情報 WEB会議画面 なし オンライン

■ 機能の利用イメージは、下図の通りとする。(但し、あくまで利用イメージなので、詳細は基本設計時に決定する)



要件定義書	業務名称	事故情報分析システム
	システム名称	事故情報分析システム

7.3. 評価委員会会議支援機能		
7.3.2. ファイル共有機能 (1/2)		
システム機能名	ファイル共有機能	
機能概要	WEB会議内で、評価報告書を共同執筆する機能・評価委員会のメンバーがファイルをアップロードする機能	
入力 (インターフェース)	出力 (インターフェース)	更新結果
関連画面 (入力)	関連画面 (出力)	WEB会議画面
関連帳票 (入力)	関連帳票 (出力)	なし
処理頻度	処理区分	オンライン
機能詳細		

- 1) WEB会議内で、文書、プレゼンテーション、グラフ、図、画像、ブックマーク等のファイル情報を共有できること。
- 2) 各ファイルにタグを付けることで、簡単に文書が整理できること。
- 3) 共同執筆した各文書は、履歴管理が可能であり、任意のバージョンにおけるファイルに遡れること。
- 4) Webブラウザを使用して、サーバ側に保存されている共同執筆ファイルにアクセスできること。
- 5) WEB会議内で、文書作成用アプリケーション、表計算用アプリケーション、プレゼンテーション用アプリケーションの利用ができること。
- 6) フォルダを作成し、ファイルを整理することができること。

要件定義書	業務名称	事故情報分析システム
	システム名称	事故情報分析システム

7.3. 評価委員会会議支援機能

7.3.2. ファイル共有機能 (2/2)

システム機能名	ファイル共有機能
機能概要	WEB会議内で、評価報告書を共同執筆する機能・評価委員会のメンバーがファイルをアップロードする機能
入力 (インターフェース)	更新情報 出力 (インターフェース) 更新結果 WEB会議画面
関連画面 (入力)	関連画面 (出力) WEB会議画面
関連帳票 (入力)	なし
処理頻度	随時
機能詳細	処理区分 オンライン

■ 機能の利用イメージは、下図の通りとする。(但し、あくまで利用イメージなので、詳細は基本設計時に決定する)

